

5月16日(月)「言葉で気持ちを伝え合おう」2, 3, 6年生

元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

みなさんは『キツネとツル』というお話を知っていますか？

ある寒い日にキツネがツルを食事にさそいます。「ツルさんどうぞ遠慮なくスープを召し上がってください」ところが、長いくちばしのツルはお皿に盛られたスープを上手に食べる事ができませんでした。

今度はツルがキツネを食事にさそいます。「キツネさんどうぞ遠慮なく召し上がってください」ところが、スープは細長いつぼに入っていてキツネの舌では食べられません。ツルはおいしそうにスープを食べました。これは、イソップ童話にあるお話で、人に意地悪をすると同じように自分も意地悪をされるというお話です。

みなさんは、キツネとツルに対してどう思いましたか？また、この二人はどうしたら初めから仲良くすることができたのでしょうか？

キツネとツルに足りなかったのは、お互いを思いやる気持ちです。キツネにとっては当たり前なことでも、「ツルさんはきっと困るだろう」と考えて、初めからつぼにスープを入れてあげれば、気持ちよく食事ができたでしょう。ツルも、困っていることを言葉でうまく伝えることができれば、キツネにも気持ちが通じたはずです。自分にも気持ちがあるように、相手にも気持ちがあります。それを上手に伝え合って私たちは生活しています。伝える方法は「言葉」です。同じことを言っても言い方が悪いとうまく伝わりません。相手に気持ちよく伝わるように丁寧な言葉で話すことが大切です。

そして、人に何か頼みたい時には「お願いします」、何かしてもらった時には「ありがとう」と言うことが大切です。簡単な言葉ですが、とても大切な言葉です。お互いを思いやる気持ちをもって、みんなが仲良く、気持ちよく過ごせる学校にしていきたいですね。

「は・あ・と」の「と」は「友達と仲良くする」です。今日は、友達ともっと仲良く、もっと気持ちよく過ごせるように考えましょうというお話をしました。

最後に、たぶんキツネはこう言ったと思います。「ツルさん、またうちに来ませんか。今度はちゃんとスープをつぼに入れてお出ししますから。」そして、ツルは「ありがとう、キツネさん。これからも仲良くしましょう。」と言ったことでしょう。

それでは以上でお話を終わります。今週もみんなで仲良く過ごしましょう。(礼)

